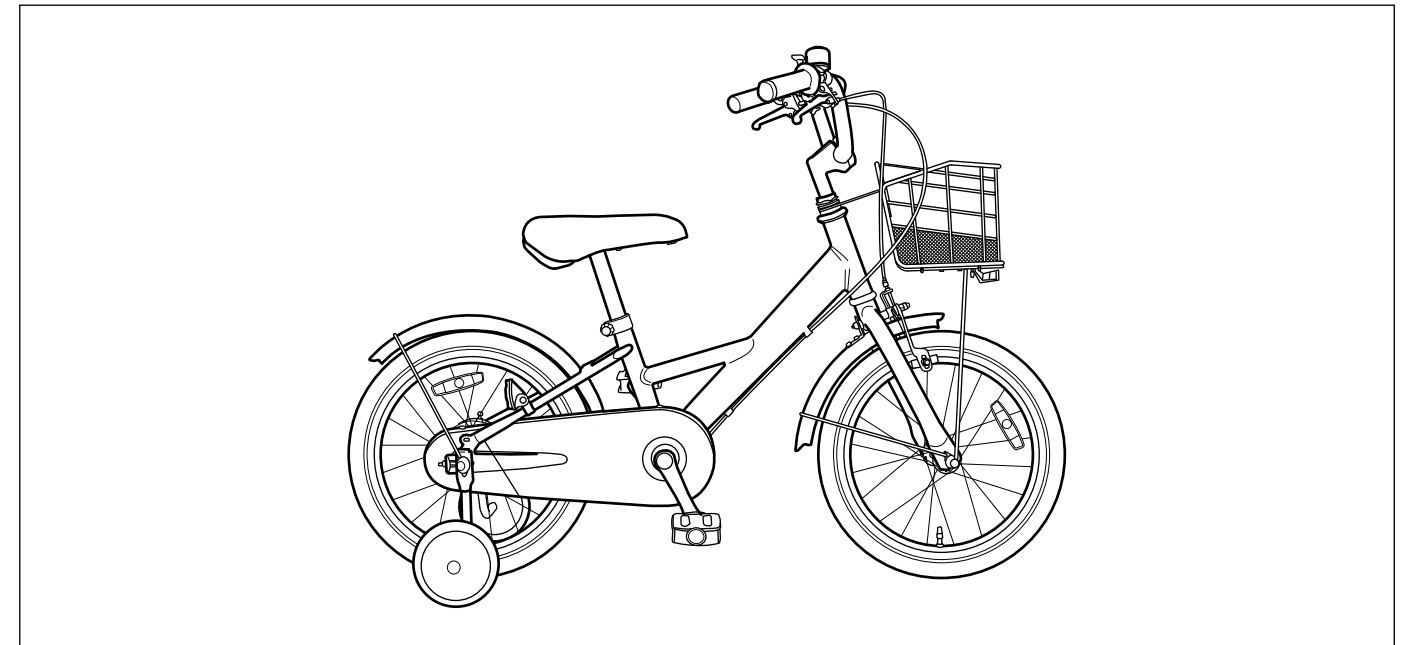
Panasonic

取扱説明書
幼児用自転車

ライトクロス・キッズ

品 番 B-LXK61E
B-LXK81E

※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「**安全上のご注意**」(2～7ページ)を必ずお読みください。
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ●保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、お子様に正しい乗りかたをご指導ください。

お願い
- ●安全のため、ヘルメットを着用してください。
- ●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- ●必ず、販売店で**防犯登録**の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

保証書別添付

もくじ

乗るまえに

必要なとき

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック サイクルテック株式会社（およびその関係会社）は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・取扱い・手入れなどは まず、お買い上げの販売店へ ご相談ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記窓口にご相談ください。

地区	電話番号	地区	電話番号
東北地区	(022) 382-7791	東京・関東地区	(0422) 34-4117
埼群・新潟地区	(0480) 93-8071	栃木・茨城地区	(0286) 52-5046
中部・東海地区	(0568) 72-6231	近畿地区	(072) 975-4100
中国・四国地区	(082) 870-7776	九州・沖縄地区	(092) 621-8811

※受付時間　平日（土・日・祝日および年末年始等の連休を除く）9:00 ～ 17:00

※上記の相談窓口が通じない場合や、北海道・北陸地区のお客様は、当社お客様相談室（下記）におかけなおしください。また、Fax をご利用される場合も当社お客様相談室にお願いいたします。

パナソニック サイクルテック株式会社お客様相談室
Tel ：(072) 977-1603
Fax：(072) 977-5611
受付時間　9:00 ～ 20:00

パナソニック サイクルテック株式会社
〒 582-8501 大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

NYT1073 G0109-0

安全上のご注意（1）

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

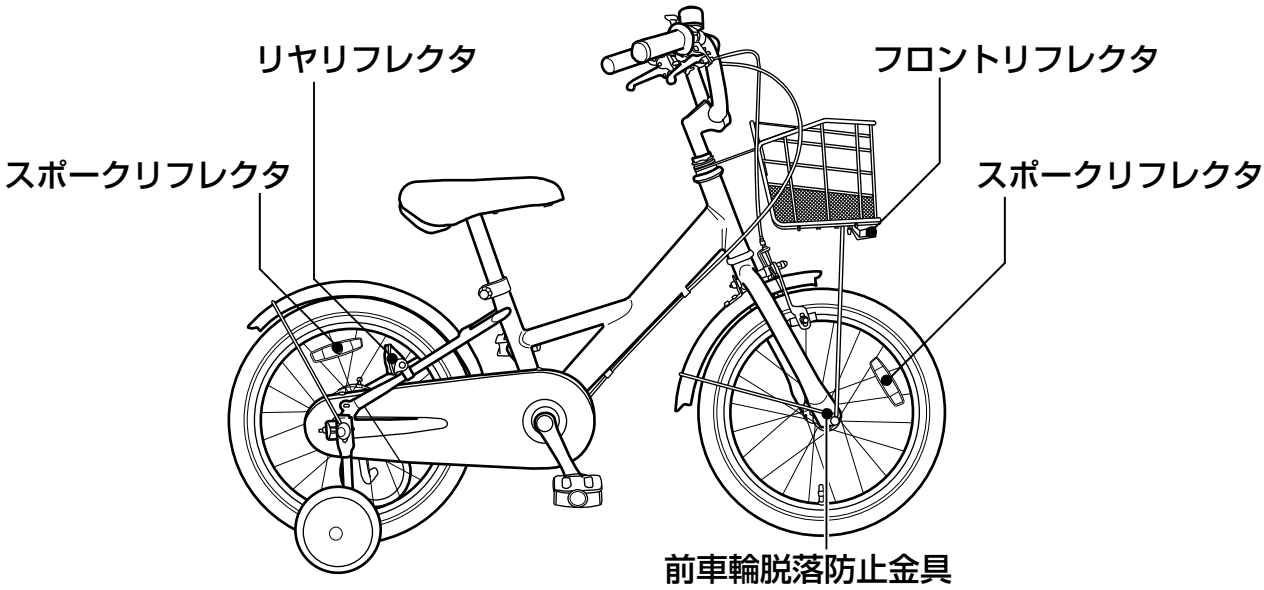
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

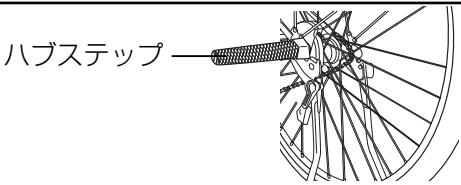
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

■ 保護者の方にお願い

- ●この取扱説明書を必ずお読みになり、お子様に正しい乗りかたをご指導ください。
- ●お子様がブレーキを操作することができることをご確認ください。
- ●両足が地面および下に回したペダルに確実についていることをご確認ください。
- ●一般道路など車両（自動車・自転車など）通行の多い場所では乗せないでください。特に曲がりかどからの飛び出しには注意させてください。空地や公園など安全な場所で乗るようご指導ください。
- ●雨天及び夜間は乗せないでください。
- ●ヘルメットを着用させてください。
- ●使用時は十分なご注意を願うと共に安全のため必ずつきそってあげてください。
- ●坂道は上り、下りとも危険です。坂道では遊ばせないでください。
- ●坂道や周囲に迷惑のかかる場所での駐輪は、やめさせてください。
- ●交通安全のため、交通法規を守るようご指導ください。
- ●前輪錠は取付けられません。錠が必要な場合はワイヤ錠（別売）をご利用ください。
- ●回転する部分（車輪・ギヤクランク・チェーン等）に手や足を近づけないようご指導ください。

⚠警告

■ハブステップなどの突出物を装着しない

ハブステップ

歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

■安全装置は取り外さない

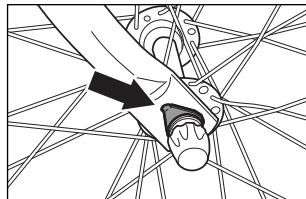
外したまま使用すると、事故発生の原因になります。

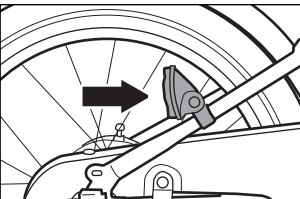
■分解や改造はしない

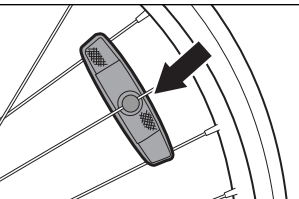
分解禁止

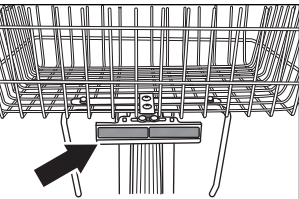
部品が破損したり、外れて転倒し、けがのおそれがあります。

■ 安全装置

前車輪脱落防止金具

前車輪の脱落を防止します。

リヤリフレクタ（後部反射器）

後ろからの光を反射します。

スポークリフレクタ

横からの光を反射します。

フロントリフレクタ（前部反射器）

前からの光を反射します。

※リフレクタが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
（リヤリフレクタが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。）

安全上のご注意（2）

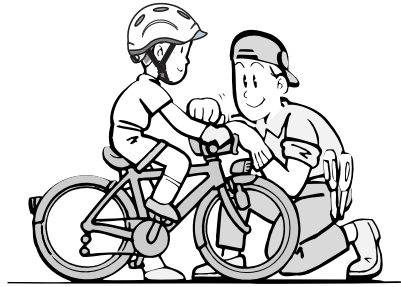
必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

安全な服装で乗ってください

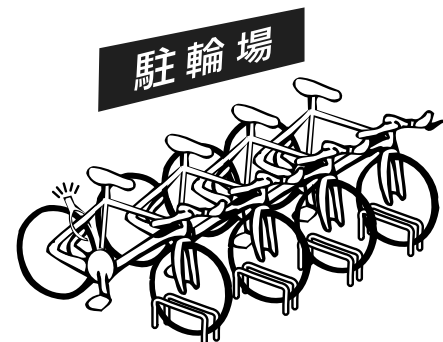
（車輪に巻き込まれやすい服装はしない）
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童（13 歳未満の者）· 幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。

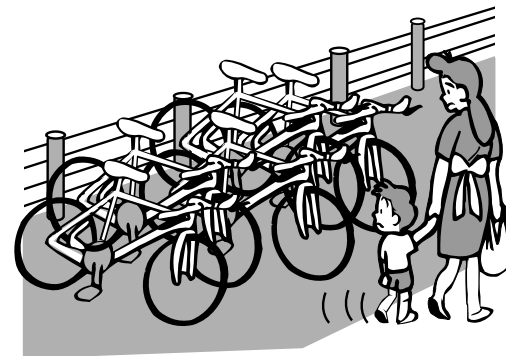
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

決められた場所に駐輪してください

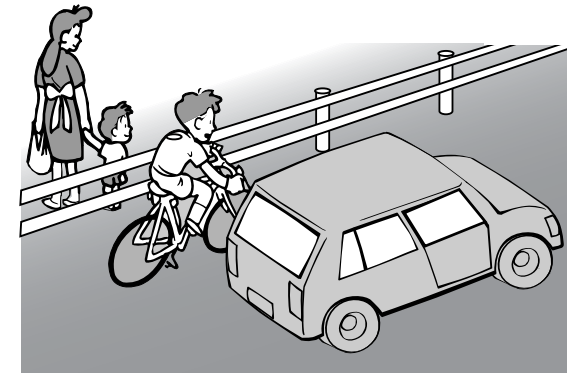
●駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。

自転車放置禁止

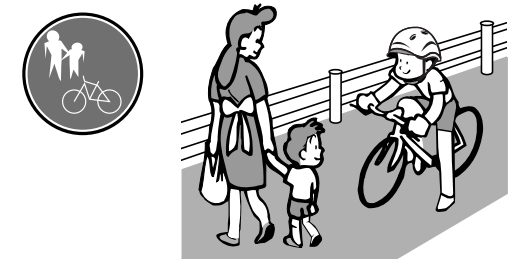
●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

■自転車の交通安全ルールを守りましょう

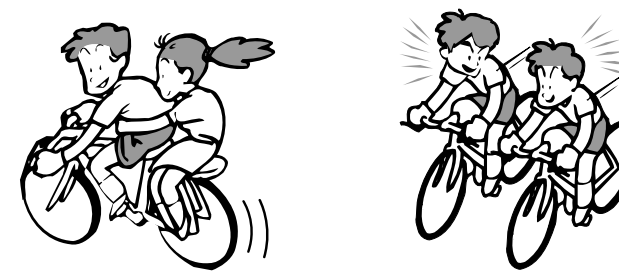
（幼児に限定せず一般としてのルールを記載しています。）

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。

次の様な場合は、歩道通行ができます

（その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行）
●自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
●運転者が児童、幼児等の場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

二人乗り、並進は禁止

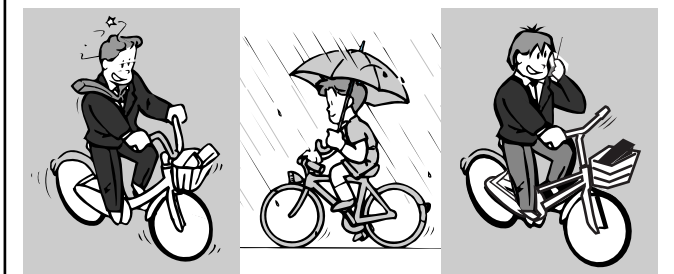
●６歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。

交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ライトを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではライトを点けて通行しましょう。

次の様な運転はやめましょう

●飲酒運転
●携帯電話を操作しながらの運転
●傘さし運転
●ヘッドフォンを使用しながらの運転

安全上のご注意（3） 必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。

（幼児に限定せず一般としてのルールを記載しています。）

交通事故を防ぐために

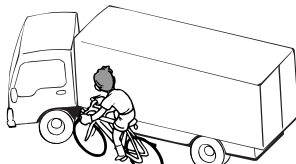
自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する

交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する

転倒事故を防ぐために

こんな時

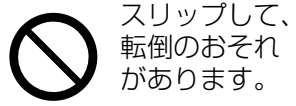
■雨・風・雪のひどいときは乗らない

バランスを崩し、転倒のおそれがあります。

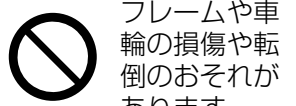
■合図以外は、ハンドルから手を離さない

バランスがとりにくく、転倒のおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない
（積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど）

スリップして、転倒のおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しいところを走らない
（歩道の段差や、溝など）

フレームや車輪の損傷や転倒のおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない
（長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど）

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒のおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒のおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

カーブでつま先が前輪にあたり転倒するおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

ペダルから足が外れ、転倒のおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒するおそれがあります。

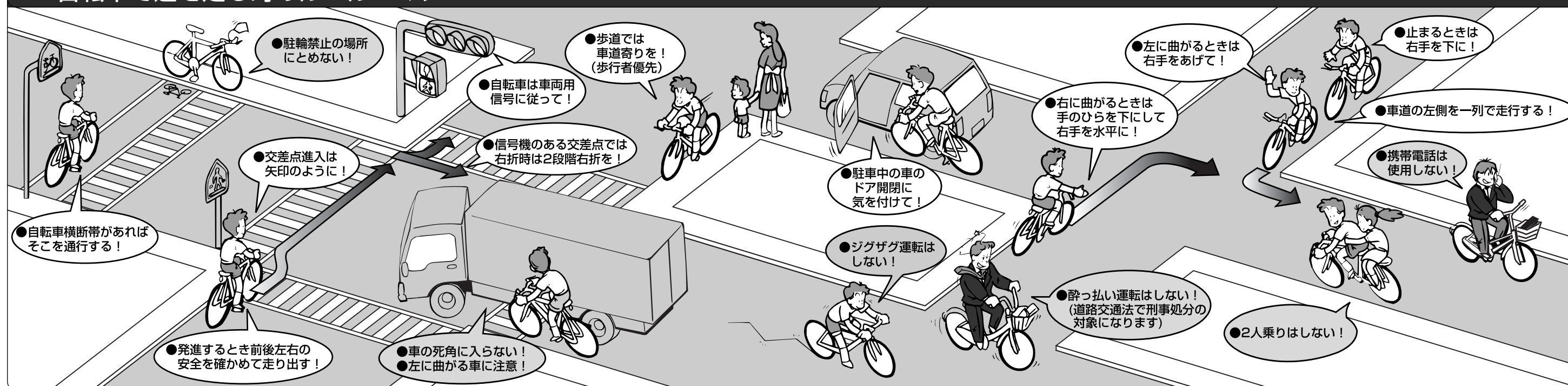
こんな使い方

■走行以外に使わない
（踏み台代わりなど）

転倒するおそれがあります。

■スポークの間に固形物（ボールなど）を入れて走らない

車輪に巻き込まれて転倒のおそれがあります。

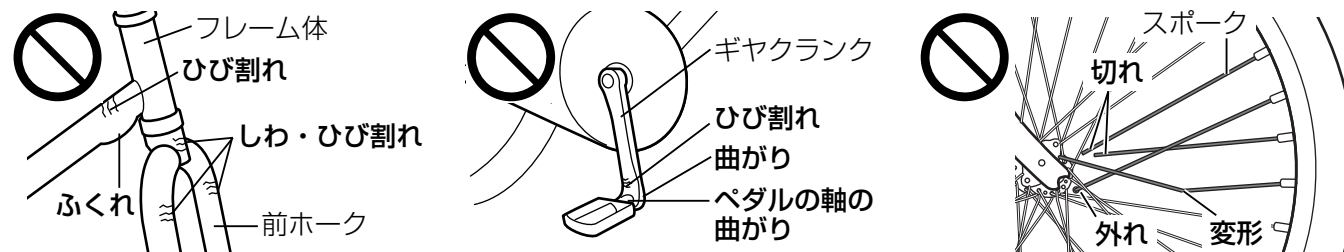
自転車で道を走る時のルール・マナー

各部のなまえ

ベル
にぎり（グリップ）
前ブレーキレバー［右］
サドル
シートポスト
シートピン
［ナット式・樹脂キャップ付］
リヤリフレクタ
スポーク
リフレクタ
後どろよけ
後ブレーキ（左側）
チェーン（裏側）
補助車輪
チェーンケース
クランク
ペダル
ハンドルバーパット
後ブレーキレバー［左］
ハンドルバー
ハンドルステム
ブレーキワイヤ
バスケット
■車種品番表示
●車種品番の見方
B-LXK61E F
車種品番
色
■車体番号（刻印位置 右側）
9文字（数字と英字）で表示しています。
防犯登録に必要です。
フロントリフレクタ
前どろよけ
バスケットステー
前ブレーキ
前ホーク
ハブ
スポーク
リム
タイヤ
タイヤバルブ
■フレーム体
立パイプ（シートチューブ）
シートステー
上パイプ
（トップチューブ）
ヘッドパイプ
（ヘッドチューブ）
下パイプ
（ダウンチューブ）
チェーンステー

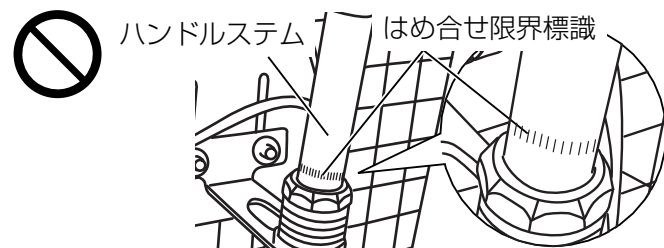
日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

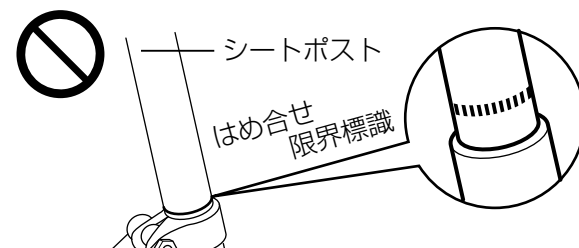
⚠警告

■ひび割れや変形したままで走行しない

折れて転倒し、けがのおそれがあります。

- ●ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
- ●前ホークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、前ホークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
- ●スポークが 1 本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。

■ハンドルステムのはめ合せ限界標識が、見えるまで上げない

ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

●ハンドルの高さ調整は、販売店にご相談ください。

■シートポストのはめ合せ限界標識が、見えるまで上げない

シートポストが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■乗るまえの点検は、必ず実施する。

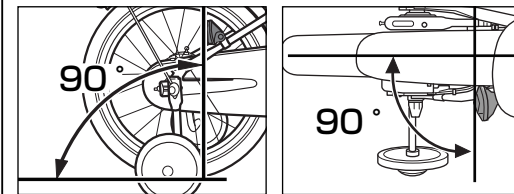
- ●前後ブレーキの効き、作動の点検をする。
- ●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検する。
- ●前後車輪が、確実に固定されているか点検する。
- ●前後タイヤの空気圧が適正か点検する

事故や転倒のおそれがあります。

■点検で異常があったときは、乗車しない

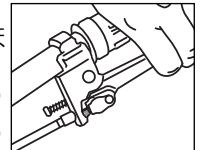
事故や転倒のおそれがあります。

●異常があったときは販売店にご相談ください。

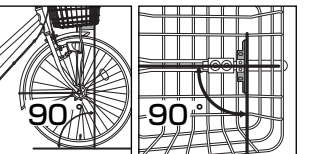
リヤリフレクタ
◎割れや、汚れはないか？
◎後からの光を反射する角度になっているか？
90°
90°

サドル・シートポスト
◎サドルに座って、両足のつま先が、地面に着くか？
◎はめ合せ限界標識が、見えていないか？
◎シートポストの固定は、確実か？

にぎり
◎ひび割れはないか？
◎抜けないか？

ベル
◎よく鳴るか？

ブレーキレバー〈前後とも〉
◎よく効くか？
◎ワイヤのさびやほつれはないか？
・固定は確実か？
・作動は円滑か？

ハンドル・ハンドルステム
◎ハンドルの固定は、確実か？
◎ハンドルステムのはめ合せ限界標識が、見えていないか？

バスケット
◎がたつきは、ないか？

フロントリフレクタ
◎割れやがたつき、汚れはないか？
90°
90°
◎前からの光を反射する角度になっているか？

どろよけ〈前後とも〉
◎がたつきは、ないか？
◎タイヤにあたっていないか？

スポークリフレクタ
◎割れやがたつきは、ないか？

前ブレーキ（ブレーキブロック）
◎すりへっていないか？
◎異物は付いていないか？

ハブナット
◎車輪にがたつきは、ないか？

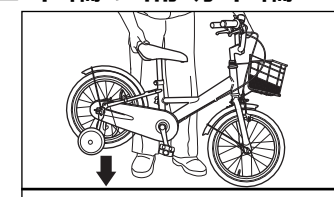
ペダル・クランク
◎がたつきは、ないか？

チェーン（裏側）
◎空回りしないか?
◎小石等が挟まってないか?
◎歯飛びや異音（バリバリ音等）はないか?
◎油切れはないか?

補助車輪
◎固定は確実か？

車輪（前後とも）
◎リム……… 振れ、変形はないか？
◎スポーク…曲がり、折れはないか？
◎ハブ……… がたつきはないか？
◎タイヤ … 摩耗、切傷はないか？
異物は付いていないか？
空気圧は適正か？

（☞ 12ページ）

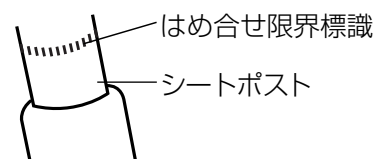
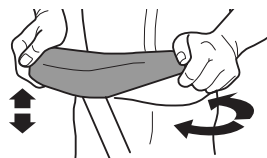
■車輪や補助車輪の締め付け部品の固定

車輪を 10cm 程度の高さから落とし、車輪などの締め付け部にがたつきがないこと。（前後とも）

ドン! ドン!

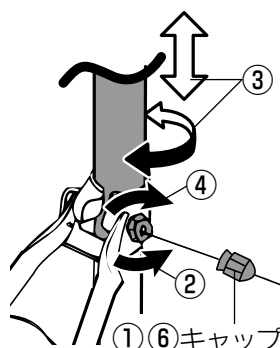
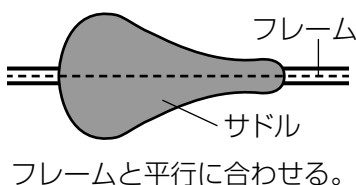
車輪を浮かせ強くたたいても、がたつきがないこと。

■サドルの調整

⚠警告

■はめ合せ限界標識が見えるまで上げない

■調整後は必ずがたつきやずれがないかを点検する

シートポストが折れたり、固定が不安定になり、転倒するおそれがあります。

●高さと向きの調整

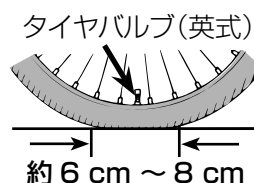
①キャップをはずす。
②シートピンナットをゆるめる。
③サドルの高さ、向きを調整する。
④シートピンナットを締める。
締付トルク：(18〜21) N·m
{(180〜210)kgf·cm}
⑤がたつきやずれがないことを確認する。
⑥キャップをつける。

●サドルの正しい方向

フレームと平行に合わせる。

お知らせ

●上下方向の角度の調整はできません。

■空気圧の調整（前後のタイヤ）

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 6 cm 〜 8 cm 程度が、適正です。
圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。
250 kPa 〜 350 kPa {2.5 kgf/cm² 〜 3.5 kgf/cm²} が適正です。

タイヤバルブ（英式）
約 6 cm 〜 8 cm

ご注意

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リムを損傷させる原因になります。
●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、英式です。
●本書 16 ページの「正しい取扱い方法」もご覧ください。

●空気の入れ方

自転車用のポンプを使って空気を入れます。

■チェーンの調整（販売店に依頼してください。）

⚠警告

■チェーンがたるんだまま走行しない

チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり危険です。
転倒や衝突の原因になります。

■ハンドルの高さ調整（販売店に依頼してください。）

⚠警告

■ハンドルステムのはめ合せ限界標識が見えるまで上げない

ハンドルステムが折れて転倒し、けがのおそれがあります。

■ ブレーキの調整（販売店に依頼されることをお勧めします。）

⚠警告

■ロックナットは確実に締め付ける

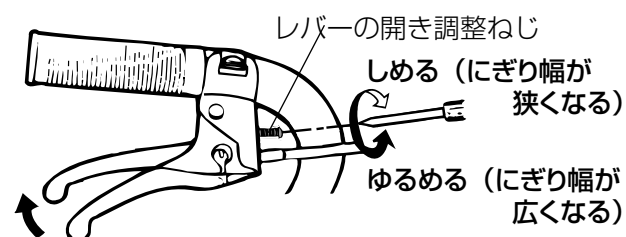
ブレーキの調整が狂い、転倒や衝突の原因になります。

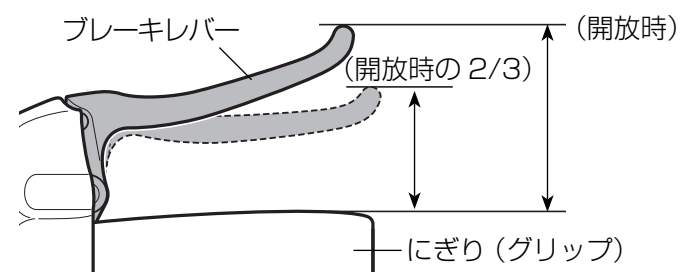
■ブレーキレバーの遊びが大きいまま走行しない

転倒や衝突の原因になります。

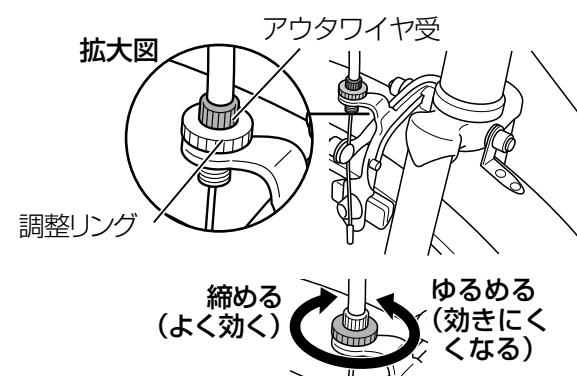
●ブレーキレバーの遊びが大きくなると、ブレーキが効かなくなり危険です。

●ブレーキレバーの開き調整

手の握り幅に合うように、調整ねじを回して調整してください。

●ブレーキレバーとグリップの間隔

ブレーキレバーとグリップの間隔は、開放時の 2/3 の位置で、ブレーキが効くように、調整してください。

●前ブレーキの調整

①アウタワイヤ受を持ちながら調整リングを回して調整する。

②動かしてブレーキの効きを確認する。

●後ブレーキの調整

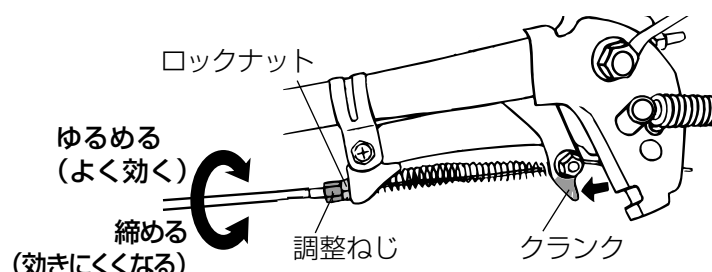
①ロックナットをゆるめる。

②クランクを押しながら、調整ねじを回す。

③ブレーキの効きを確認する。

④調整ねじがゆるまないよう、ロックナットを確実に締め付ける。

締付トルク：1 N·m 〜 2 N·m
{10 kgf·cm 〜 20 kgf·cm}

ロックナット
ゆるめる（よく効く）
締める（効きにくくなる）
調整ねじ
クランク

お知らせ

●雨や水がかかったり、湿気により、ブレーキをかけた時に音がでることがありますが、異常ではありません。

■ 乗車について

⚠警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度	6 km/h

衝突や転倒による事故の原因になります。

■乗車したまま段差の上り下りはしない（車道から歩道への段差等）

補助車輪が段差にひっかかり、転倒したり、車体が損傷するおそれがあります。

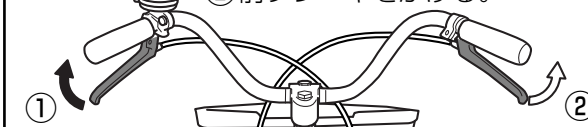
●自転車から降りて、押してください。

●ブレーキのかけ方

①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。

⚠警告

■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒するおそれがあります。

お願い

●急な坂道のときは、降りて押してください。

●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がですぎないように走行してください。

●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。

●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

■ バスケットについて

⚠警告

■積載条件から外れる荷物を積まない

〈バスケット積載条件〉
●大きさ：バスケットにおさまる大きさ　　●重さ　：1 kg まで

バランスを崩し、転倒するおそれがあります。

■バスケットを持って持ち上げない

破損、落下によるけがのおそれがあります。

■ タイヤについて

⚠注意

■走行前にタイヤに異物が刺さっていないか点検する

パンクの原因になります。

■タイヤの空気圧は 250 kPa {2.5 kgf/cm²} 未満では使用しない

タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

お願い

●ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
●ガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、すぐふき取ってください。

■ 補助車輪について

⚠警告

■補助車輪の取り付け、取り外しはしない

事故や転倒のおそれがありますので、販売店にて行なってください。

お 手 入 れ

■ 日常のお手入れは、

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。

■ 汚れがひどいとき

水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。注油禁止場所には注油しないでください。（☞ 18 ページ）

■ 塗装部（フレーム体など）

乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■ めっき部

乾いた布でよくふいたあと、「サビ止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■ 樹脂部

乾いた布でほこりをとってください。

■ 湿気の多い所や海岸沿いは、

さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

お知らせ

●シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。
（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）
●サドルには、ワックスをかけないでください。
（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）

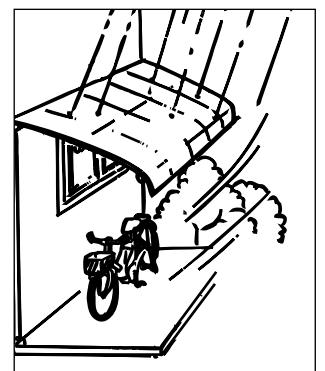
保 管 ／ 廃 棄

■ 保管場所は、

雨がかかりにくい場所に保管してください。

雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検･調整のうえ、ご使用ください。

■廃棄するときは、

自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

注　油について

注　油

⚠警告

■リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油をつけない

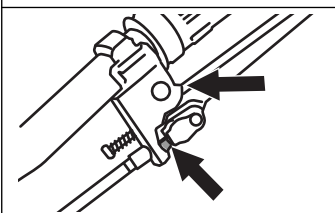
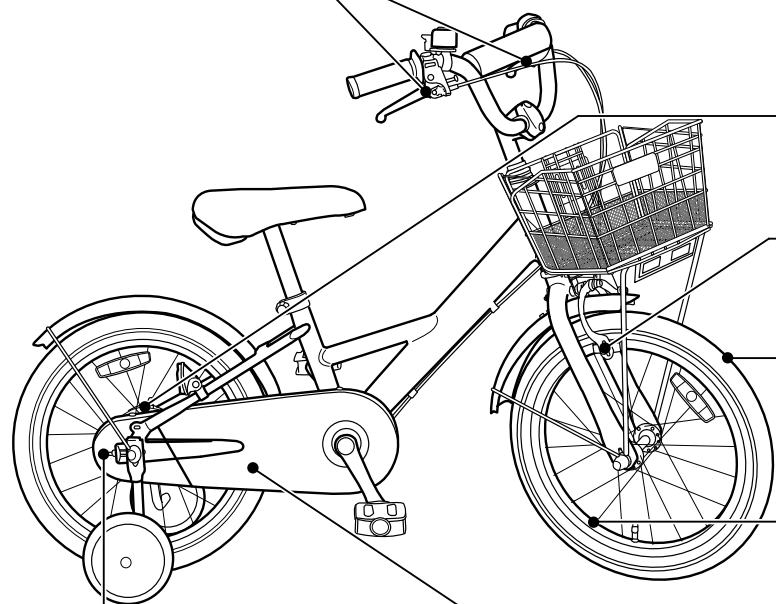
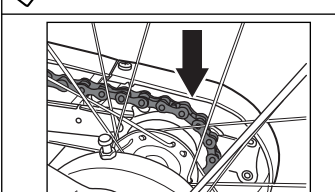
注油禁止

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒のおそれがあります。

このマークは、**注油場所**を示します。

このマークは、**注油禁止場所**を示します。

お願い

●油の種類は、必ず、防錆潤滑剤を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
●樹脂加工部に油をつけると、表面が変色したり、ひび入りの原因になります。
●余分な油は乾いた布でふき取ってください。

クランクを回しながら注油し、余分な油は、ふき取る。（ほこりがつきやすくなるのを防ぎます。）

定期点検

定期点検

⚠警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故の原因になります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤは、異常がなくても２年に１回は、交換する。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
●ブレーキブロックは、溝の残りが、１mmになる前に交換する。
●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。

ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒のおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくためにご使用後初めての初回（2ヵ月目）点検と、6ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。

●初回（2ヵ月目）の点検と整備

お買い上げ2ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

●２回目以降（6ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

愛情点検　**定期点検をし、安全走行をしましょう！**

こんな症状はありませんか

●異常音がする
●がたつきやゆるみ
●車輪の振れ
●ブレーキの効きが悪い

お願い

●点検・整備は、お買い上げの販売店で行ってください。

おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	電　　話（　　　　）　　　ー
品　　番	車体番号
防犯登録番号	

盗難補償／アフターサービス

盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より 1 年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、盗難補償登録カードをご提出いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

（1）盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から 1 年間以内の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2）盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等）に、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。
追って、販売店から新車をお渡しします。

（3）盗難補償できない場合

イ．（2）の書類がそろわない場合
ロ．補償期間が過ぎている場合
ハ．盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
ニ．防犯登録がされてない場合
ホ．盗難車が見つかり、返ってきた場合
へ．景品などの贈呈品の場合

お知らせ

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービス（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、 ▶ お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。

●保証期間が過ぎた後は、 ▶ お買い上げの販売店にご相談ください。

自転車安全基準／BAA マーク

この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

自転車安全基準

「自転車安全基準」は、（社）自転車協会が JIS（日本工業規格）をベースに、DIN（ドイツ規格）など海外の規格やヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS 指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

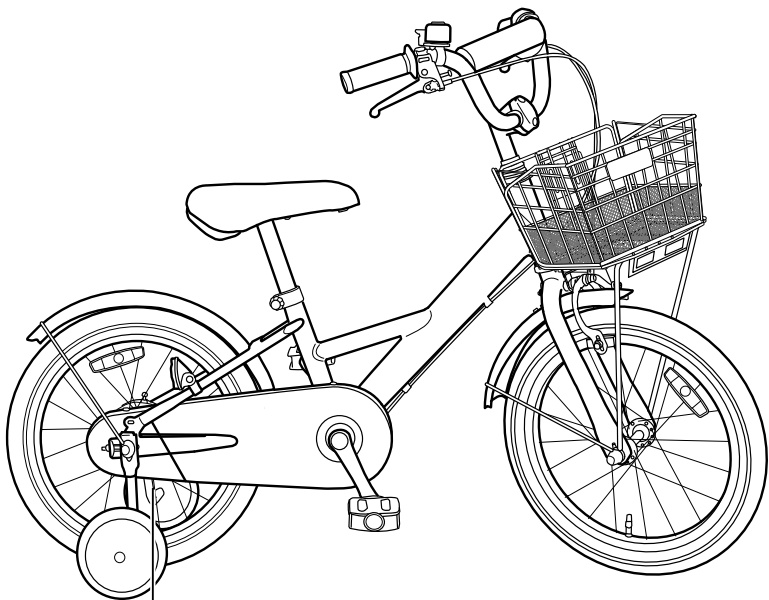
BAA マーク

「BAA マーク」は、自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車に、貼ることができるマークです。
「BAA マーク」は、自転車の立パイプに貼付されています。
※ BAA= 自転車協会認証—BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN) APPROVED

必要なとき

オプション 別売部品

取付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に、販売店にご確認ください。
（掲載している品番は 2008 年 11 月 現在のものです。）
●価格等詳細については、販売店にご相談ください。

スタンド

●両立スタンド
B-LXK61E
…SCS014
B-LXK81E
…SCS015

●一本スタンド
B-LXK61E
…SCS022
B-LXK81E
…SCS023

※補助車輪を外さないと取付できません。

ワイヤ錠

SAJ066 B（ブラック）
F（クリア）
M（ピンク）
V（ブルー）
※ワイヤ長さ：
600 mm

⚠警告

■走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない

スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒するおそれがあります。

仕 様

品　番		B-LXK61E	B-LXK81E
寸法	フレームサイズ	220 mm	260 mm
	全　長	1,166 mm	1,254 mm
	全　幅	490 mm	490 mm
	ハンドル高さ	700 mm ～ 740 mm	750 mm ～ 790 mm
	サドル高さ	460 mm ～ 570 mm	510 mm ～ 620 mm
フレーム		N 型	
ハンドルバー		中上がり	
バスケット		鉄コーティング製	
サドル		シートポスト直付サドル	
後ブレーキ		バンドブレーキ	
チェーンケース		全半面ケース	
リ　ム		16 × 1.5 HE アルミ	18 × 1.5 HE アルミ
タイヤ（前後）		16 × 1.75 HE	18 × 1.75 HE
オプション		両立スタンド／ 1 本スタンド／ワイヤ錠	
乗車適応身長		103 cm ～ 114 cm	108 cm ～ 119 cm
質　量		12.0 kg	12.6 kg

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更等により、誤差が生じる場合があります。
●この車種は、乗員体重を 20 kg で基本設計しています。
従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。

■寸法について